

# 把手セット 取付け説明書

## ■取付け順序

(本図はサムラッチタイプを例にとり説明してあります。  
レバーハンドルやバーハンドルも取付け方法は同じです。)

### ①最初にメインケースを框へ取り付けます。(図-1)

- ①取付けねじで、②メインケースを取り付けます。  
この時、③ラッチの背が室外側に向くようにしておいてください。

#### ●レバーハンドル・サムラッチタイプの場合

- ④フロントを外した状態でラッチを回転させてください。
- バーハンドルタイプの場合

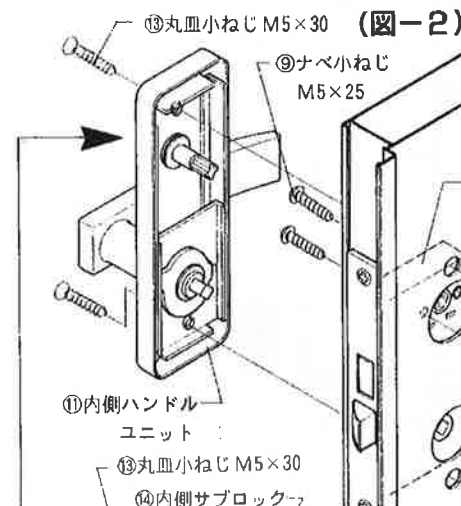
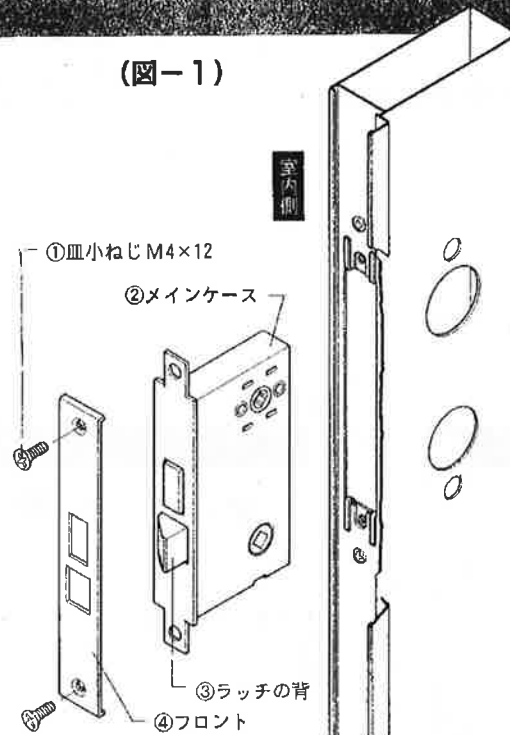
つり元に合わせてラッチの向きはセットされています。ラッチの向きを変える場合は、下記の要領で行ってください。

- ④フロントを外した状態で、⑤ラッチユニットをメインケースから取り出してください。
- ⑥アームを広げてラッチを倒します。指でラッチを押さえながら、ラッチユニットを扉の勝手に合わせて②メインケースに差し込みます。

### ②シリンダーユニット及びハンドルユニットの取付け (図-2)

- ⑦シリンダーユニットの⑧振れ止め金具を左に回してゆるめます。
- ⑦シリンダーユニットのMIWAマークを上にして②メインケースに差し込み、室内側より⑨ねじで取り付けます。この時、シリンダーの4か所の出っ張りをメインケースの角穴に合わせてください。  
※⑩サブケースに取り付ける場合も、⑩サブケースに差し込み、室内側より⑨ねじで取り付けます。この時、シリンダーの4か所の出っ張りとおサブケースをかみ合わせてください。
- ⑧振れ止め金具を扉面まで軽く締め込みます。
- ⑪内側ハンドルユニットの⑫サムターンツマミを縦にした状態で②メインケースに差し込み、⑬取付けねじで締

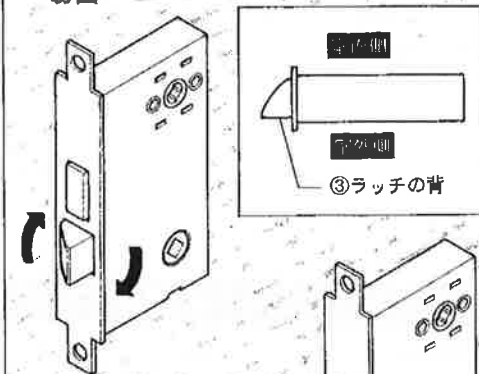
(図-1)



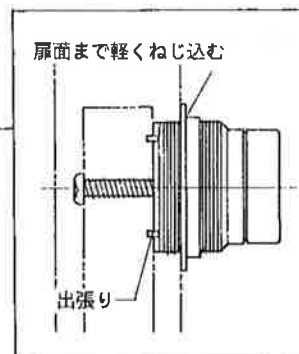
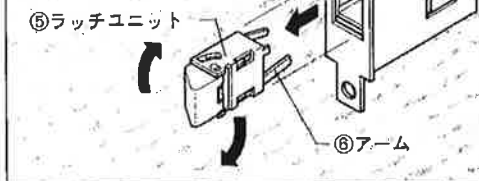
## ■扉の勝手とラッチの向き

### ■ラッチの背の向きの変更

- レバーハンドル・サムラッチタイプの場合



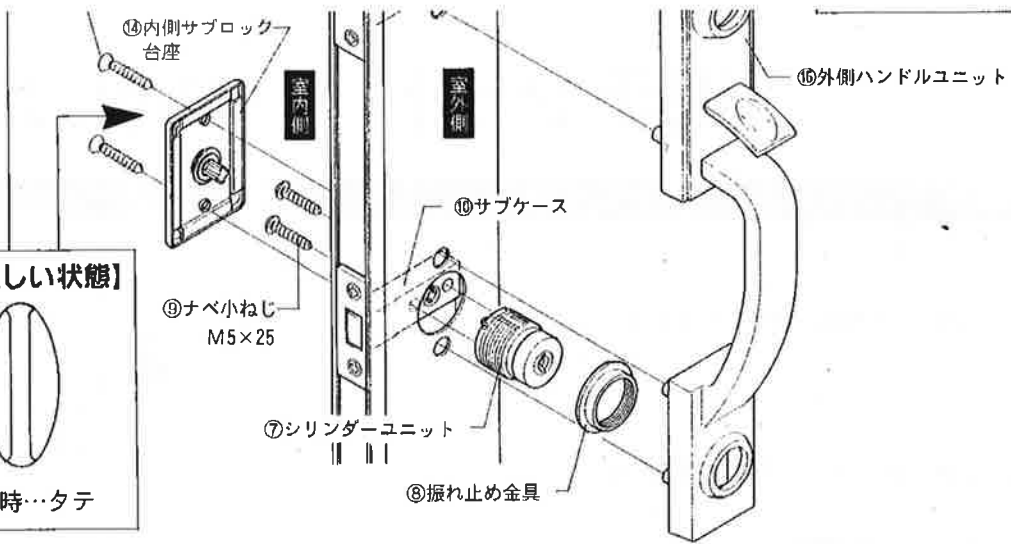
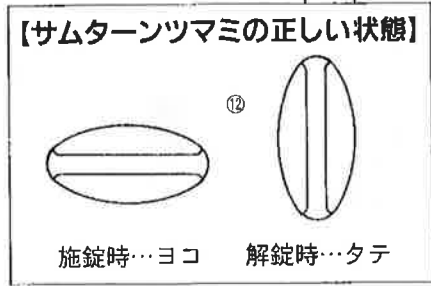
- バーハンドルタイプの場合



ル状態に⑩サブケースを差し込み、⑪取付けねじで締め付けます。

5.⑭内側サブロック台座の⑫サムターンツマミを縦にした状態で⑩サブケースに差し込み、⑬取付けねじで締め付けます。

6.レバーハンドルタイプの場合は、⑯角芯付きレバーハンドルを室外側より差し込みます。次に室内側より⑰レバーハンドルを押し込み、⑱締付けねじで固定します。(図-3)



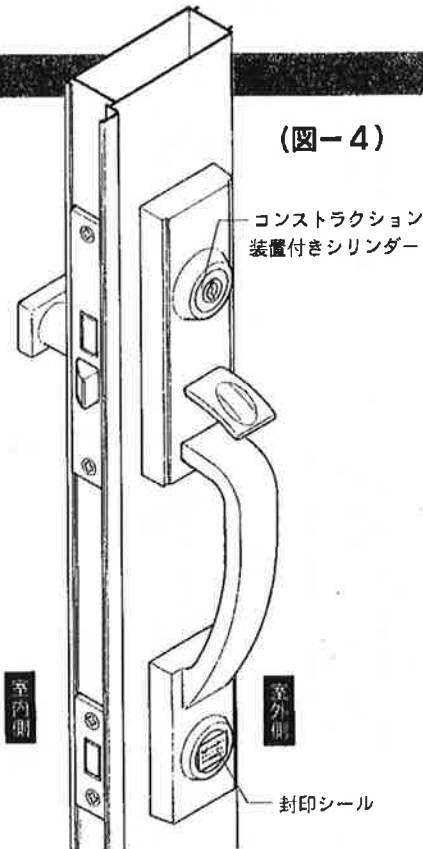
### ■コンストラクション装置について

●本製品は、シリンダー1個にコンストラクション装置を採用しています。現場を施工される場合、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。

施工後、お施主様専用のキーで作動するとコンストラクション装置が解除し、以後はコンストラクションキーでは開閉できなくなります。

#### 【お願い】

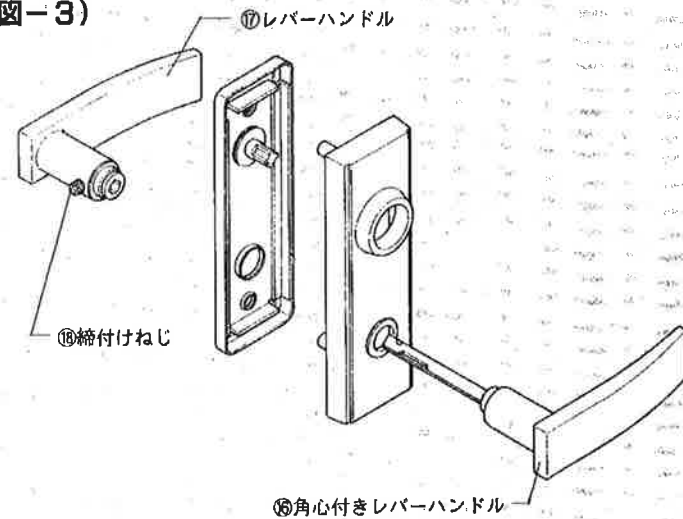
もう一つのシリンダーには、コンストラクション装置が組み込まれていないため、封印シールを貼付してあります。施工後、シールをはがしてお施主様にお引き渡しください。



(図-4)

### ■レバーハンドルタイプ(図-3)

(図-3)



⑯角芯付きレバーハンドル